

第12回 やつしろ・まち・ひと・しごと対策推進会議
議事要旨

日時：令和2年10月30日（金） 10：00～11：45

場所：八代市千丁コミュニティセンター 大集会室

■やつしろ・まち・ひと・しごと対策推進会議 委員（敬称略）

| | | |
|---------------|---------|-----------|
| 八代市 | 副市長 | 田中 浩二（会長） |
| 八代市市政協力員協議会 | 会長 | 徳田 武治 |
| 八代商工会議所 | 会頭 | 竹永 淳一 |
| 八代市商工会 | 会長 | 建貝 幸一郎 |
| 八代地域農業協同組合 | 代表理事組合長 | 山住 昭二 |
| 八代森林組合 | 代表理事組合長 | 西坂 栄樹 |
| 一般社団法人DMOやつしろ | 事務局長 | 下田 勝英 |
| 熊本県南広域本部 | 総務部長 | 佐崎 一晴 |
| 中九州短期大学 | 教授 | 川井 健次 |
| 熊本高等専門学校 | 教授 | 田中 裕一 |
| 株式会社 肥後銀行八代支店 | 支店長 | 田中 俊浩 |
| 熊本中央信用金庫 | 理事総務部長 | 松高 逸夫 |
| 熊本第一信用金庫八代支店 | 支店長 | 三上 英吾 |
| 株式会社 エフエムやつしろ | 代表取締役 | 吉住 一郎 |

（欠席）

| | | |
|-------------|---------|--------|
| 八代漁業協同組合 | 代表理事組合長 | 滝川 和徳 |
| 連合熊本県南地域協議会 | 事務局長 | 花岡 久美子 |
| 八代市保育協会 | 会長 | 橋本 守 |

< 配付資料 >

会議次第、出席者名簿、席次表

資料1、2 八代市総合戦略重要業績評価指標（KPI）の進捗状況（概要版／本編）

資料3 事前質問資料（質問及び回答）

1. 開会

2. 委嘱状交付

3. 会長挨拶

4. 議事

(1) 八代市総合戦略の重要業績評価指標（K P I）による効果検証について

- ・資料1, 2 説明（事務局）
- ・資料1は、重要業績評価指標（K P I）の進捗状況を総括したもの。
- ・あわせて、国立社会保障・人口問題研究所と本市人口ビジョンの将来展望人口及び本市住民基本台帳登録人口の人口減少率等を比較。
- ・本市の住民基本台帳における社会動態、自然動態について整理。
- ・資料2は、総合戦略のK P Iについて、達成／未達成とその評価を記載したもの。
- ・事前質問に対する回答を、事業担当課から説明した後、事業に関する質疑や意見交換を実施。

— 事前質問及び回答 —

- ・配布資料「事前質問資料」に従い、事業担当課より回答及び補足説明を実施。

— 意見交換 —

| | |
|--------|--|
| ○委員 | 7ページですね、国指定文化財件数進捗率0%なんですけど、こないだですね、東陽町の石橋群が日本遺産に登録されたんですけど、これは国指定文化財には入らんとですか。 |
| ●文化振興課 | 今ご質問がございました国指定文化財の件数ですけれども、K P Iで提出している数値は、文化財保護法に基づきます国の指定文化財の件数ということになっております。先般、令和2年6月19日に認定を受けました日本遺産につきましては、文化財保護法の範疇とは別の括りで、指定文化財に指定されていない文化財も含めて共通のストーリーを八代市として認定申請して、それを認定されたと。これを地域の活性化に生かすというような枠組みでございます。 こちらは平成元年度の数値ということでございますが、国指定文化財というところではカウントしていないというところでございます。 |
| ○会長 | 制度が別物ということですかね。 |
| ○委員 | せっかく登録されたので、これに入れて欲しい。別物ということなんですけど。元年度の資料ですか。まあ、これは画期的なことですからね。進捗率が0%ということがあるものですか、元年度は元年度でしょうばってんですよ。 |

| | |
|-----|---|
| ○会長 | <p>11件のところが、現状維持で実績が11件だったので、計算すればそうなりますということです。もちろん、日本遺産の方は一生懸命啓発して、活用してもらいますので。</p> |
| ○委員 | <p>この事前質問を見れば、前向きな意見がほとんど無いとですよね、結局。だけん、今のように少しでも、前向きな日本遺産なんか、次回は資料に入れてもらわなければと思いますけど。はい、以上です。</p> |
| ○委員 | <p>失礼いたします。農協の組合長さんもおいででございますので、実情をお聞きしたいと思います。い草の件でございます。い草は生産性として、機械化が、先ほどの説明だと機械化になったと。どうしても、そういう風になってもなかなか、い草の生産者が増えてこない。そして今朝の新聞を見ると、なんと、畳の上でヨガって載ってましたけれど、ああ、素晴らしいなと眺めて、畳の良さを、私たち日本人として痛感しているわけですが、現状はいかがでございますでしょうか。そうすると行政の方の参考にもなるかなあと、そういう風に思って、良かったら、い草の現状について、お話を頂ければと思います。よろしく申し上げます。</p> |
| ○委員 | <p>あのですね、今、い草の現状、確かに機械化、労働力の削減のために機械化は大変ありがたかったんですけども、なかなかまずもって、品質は良くしようという努力はしとつとですけども、畳の部屋が無くなったというのがすごく、他のなんか、畳・い草とかで代用とかがなかなかうまくいかなくてですね、畳の部屋がとにかく増えて貰わんと困るんで、その対策を少しかうなとかできればという風に思うわけでございますけれども。</p> <p>品質向上はすごく努力してやってるんですけども、なかなかこう、畳がこう、部屋がないもので、今年は確かにコロナの影響で、ま、例えば料理屋さんとかいろいろの畳替えとかも無いものでですね、かなり伸びが悪いんですよ、で、価格も伸びないということで生産者の方々も大変苦勞をされているんですけども、ま、なかなか、そうそう売れないと、後継者も増えないということでございましてですね、もう衰退の一途にあるのは事実なんですよ。</p> |
| ○委員 | <p>中国の畳は、いまどんな感じなんですか。</p> |
| ○委員 | <p>私もそのところはちょっと、市が把握しとらすかはわからんとですけども、そこは、はっきりはでけんんですけども、ま、それもあるのはあるんですけども、問題はとにかく畳替えとかがないと、部屋がないということが一番のネックみたいですね。</p> |
| ○会長 | <p>それが質問の5番、資料3の1ページ目のNo.5ですね。そのところにも出ておりますので、農林水産部の方から、その需要の拡大についての取り組みをですね、ちょっと説明をしていただけますか。</p> |

| | |
|--------|--|
| ●農林水産部 | <p>ただいまのご質問の畳の需要拡大の關係の施策でございますけど、八代市民に対しましては、1畳あたり千円の補助ということで、従前からやっております。それと、住宅を造るメーカーさん、UR都市機構とか、全国工務店協会、日本木造住宅産業協会、全国中小建築工事業団体連合会など、全国的な組織がございますけど、こちらにも働き掛けを行い、需要の拡大をしていただくようお願いをしているところでございます。</p> <p>それから、全国の畳店を対象に、熊本産の畳表応援店制度というものを作りまして、こちらの方でも県産畳の需要拡大に繋げて行こうとしているところでございます。現在、全国で100店舗あまりを、この畳表応援店というところで認定しております。以上、お答えと致します。</p> |
| ○会長 | はい。ありがとうございました。よろしゅうございますか。 |
| ○委員 | <p>わたし、ついつい、今の件について、ひとりで笑っちゃうんですけど、いろいろ補助もあると、しかしあの需要が増えない。あの、わたし、思うんですけど、その辺のところは、建築様式を変えなくちゃでけんじゃなかつね。あなた達が苦勞から苦勞を重ねて、いろいろこうしても、やっぱり、洋館辺りをなくすとか、極端に言ったらですよ。その辺の私たち住民としてはジレンマですよ。畳の部屋が少なくなるばかりと。今、組合長さんもそういつて、おっしゃって頂きましたけど、</p> <p>それで私、組合長さんにお聞きして、そして、行政の方の話を聞きだしたかったんですけど、建築様式を変えなければ畳の需要は増えないと、そういう風に思って、非常にわたし、うーん、自分自身、自身に憤りを感じているところです。</p> |
| ○会長 | あの先ほどの全国組織、要するにあの、この辺から住宅の設計を請け負うような工務店さんの集まりもありますので、そこに畳の良さを知って頂いて、施主様にそういう畳の良さ、あるいは和室を勧めるということも進めてもらおうという主旨で、2年前くらいから、国交省の關係団体でもありますので、要望の際に、ここも一緒に回っておりますので、徐々に、少しずつ結果が出て来ると思っていますので、よろしくお願い致します。 |
| ○委員 | 2点ほど質問致します。1つは進捗率の考え方が、わからない。何に対しての進捗率という見方をするとよろしいのですか。それが1点。まずは、それをお願いします。 |
| ○会長 | 進捗率の考え方ですので、事務局の方から説明をお願いします。 |
| ●事務局 | 進捗率の考え方につきまして、資料2の1ページ目をお願い致します。一番上の草作付面積でいきますと、この最初、総合戦略を創りました時の策定時というところが601ということになってまして、これを目標が630というところで、29、KPIを伸ばすというのが、まず分母になります。 |

| | |
|-----------|---|
| | <p>これに対して、策定時601から実績値346ということで、マイナスになっておりますので、プラスになってくると、29伸ばそうと思っていたけれども、それより、例えば50伸びたという形になってくると200%となっていくのですが、マイナスですとマイナス879%というような形になります。</p> <p>このページの一番下、6次産業化・農商工連携によるということの数値になりますと、策定時が5で目標10というところで、5伸ばすというつもりでおったんですけれども、実績値が7というところで、2しか伸びなかったと。これで40%という見方になります。以上でございます。</p> |
| ○会長 | <p>よろしいですか。マイナスになるとなかなか、わかりにくいですね。プラスのうちは分かりやすいんですけども。ただ、同じ式を当てはめるとこういう結果になるというところで、ご理解、頂きたいと思います。もう1点ございますか。</p> |
| ○委員 | <p>もう1点はですね、7ページの、先ほどちょっと触れられました、中心商店街地域出店数の話からなんですけど、これあの、確かにアーケード街に民間の病院ができ、ソフト事業の開催も3件かな、いまできて、そこに来ると人が増えつつあるということなんですけれども、例えばソフト事業のところと、商店街の絡みとか、病院に来られる方と商店街の絡みというものが、まだ何も出てきてない。</p> <p>昨日、商店街の方々とも、お話し合いをしたんですけども、商店街としても、どなたに話せば良かったでしょうかね、というくらいのところがありました。医商連携に関してはですね、確かに桜十字病院と1丁目・2丁目・3丁目の方々とお話し合いが進んでおりますけれども、逆にソフトの方が、若い人たちが非常に集まって来て下さってるんですけども、その方々と商店街の絡みが何一つまだ生まれてこないところが、心配しているところで、ただSUNABACOさんで、勉強をして、そのまま帰るということだけが行われているような気がしてなりません、その辺のところをどのようにお考えか、お聞きできればと思います。</p> |
| ●商工・港湾振興課 | <p>今、ございました、確かにこれまで商店街の方のソフト事業につきましては、例年通りの事業を実施されておられております。で、今年度ですね、先ほどもございましたSUNABACO八代さんが、商店街の方に新店舗されましたし、桜十字病院さんも、本町2丁目の方に新店舗されましたので、今後ですね、各商店街振興組合及びまちなか活性化協議会の方にですね、ソフト事業を実施される際は、そういった若い人たちが集まるSUNABACO八代さんとかとの連携だったりとか、また、新たなこれまでの事業とは違った魅力あふれるような事業の取り組みを考えていただいているように、こちらも働き掛けを行っていきたくて考えております。</p> |
| ○委員 | <p>はい。ま、そのようにおっしゃるかなとは思ってたんですが、今、まちなか協議会とかがやってる事業にしても、期間限定の単発モノばかりなんですよね。一年間通じて何かをしているというものが、見当たらない。イベント化しているというのが現状でして、そこにこうSUNABACOさんの事業なんかとすれば、商店街、</p> |

| | |
|-----|--|
| | <p>アーケード街の活性化とレベルアップを考えると、何かやり方が、年間通してあるもんじゃないかなと。そちらの方からの考え方を少し取り入れて行かれたらいかがかなと。いう気がしておりますので、もし、そういうあたりがありましたら、商工会議所も一緒にやりますので、言って頂ければと思います。そこを考えていかないとですね、あの単発じゃどうしても伸びが出てこない。1年間通して何かをやる、それを3年続けてやる、5年続けてやるという覚悟じゃないと、新しい街になって行かないという風に思いますので、よろしくお願いします。</p> |
| ○会長 | <p>特にお答えはよろしいですか。はい、ではそういうご意見を踏まえて、いろいろ考えて行動して頂ければと思います。</p> |
| ○委員 | <p>い草の作付け面積の下にですね、資料2の1ページの重要業績評価指標のところ、2番目に素材生産量ということで、森林組合、関係ありますけれども、さきほどのい草の需要の問題もありますけれども、スギ・ヒノキ、こういうものが約50年しますと、木を切る時期に来てるんですね。熊本県は高齢級になりまして、もう切っている山が相当あると。それで、八代管内でも、どういう風に切っていくかと。それと、どういう風に流通させるかということで、いろいろ、県の指導とか、市と協議しましてですね、やっております。それで、管内としては、合併以来、旧泉、東陽、それから、旧八代、それから、坂本ということで、林野面積が相当広がっています。その中で、計画じゃ6万7千㎡ですか、これが年々伸びてきておりまして、100%と、二重丸となっております。現状値が。それとですね、切るばかりじゃなくて、売り先ということで、いわゆる中国、韓国、台湾、東南アジアにですね、丸太で木材輸出ですね、建築材の量じゃないんですが、ま、中継くらい、それが順調に伸びて行ったと。また、コロナの関係で一時、中国向けの輸出がストップしましたけれども、また、再開して順調に、はけておるといような状況でございます。ですから、これ、私たちも非常に良いわけですが。</p> <p>それから4番目の木の駅プロジェクト、これはふるさと創生というか、地方創生のあれでやって頂きまして、うちも27年に、確か、開所したと思いますけれども、年間1,200トンを、昨年度ちょっと落ちました。なぜかということ、木材輸出の方へ転出材も回ったという事で、少し、その760トンになったと。ところが、昨日ちょっと、木の駅の実行委員会の会議をしましてですね、今のところもう、930トンくらい、令和2年度は集まっているということで、この辺のですね、集荷量が増えたという事で、転出材のいわゆる木の駅に木材の搬入があつてると。それと、いわゆる会員ですね、木の駅を設けた主眼というのは自伐林家、自分で山を手入れする人を持ってくると、それと色々な補助事業でやってる、林地に存在するいわゆる端材ですね、そういうものを残さないようにして、災害を防ぐ。それから、有効利用するという事で、こういう策ですから、非常に、私たちも、市のこの発想というか企画には、感謝しているわけですが、これも順調に動いてきております。それであの、この前、7月は球磨川の豪雨災害もありましたけれども、八代管内の上流の五家荘ちゅうのは、川辺川の一番上流でございます。そこで、非常にやっぱり森林整</p> |

備をしっかりとせにやいかん。ということで、だいぶん、間伐やら、いろいろそういうことをやっておりますが、一気ににはできません。ただ、さっき言いましたように、そういう補助事業、自伐林家が生産した端材も金にしていくということで、やっぱり材価が下がっておりますので、この事業につきましては、私たちが積極的にやっておりますし、それから森林所有者、組合員ですね。啓蒙して後方支援を通じてですね、個人個人で売ったら面積が小さくなりますので、経費がかさみます。ですから、専門用語で言いますと集約化と言って、面積を大きくまとめて一回でまとめて切る。そして、昔と違って高性能林業機械といって、いわゆる道路建設カーみたいな、ああいう大きな機械で伐出をします。切ったり、剥いだり、搬出したり。おとといも現場に行きましたけれども、東陽町の河俣で、だいたい普通5ヘクタール5町歩ずつくらい切るという計画で進めています。それと、ひとつの人が2町歩切りたと言った場合には、その周辺の方にお話をして、一度に切りませんか、経費を下げ、お返しする金額を増やしますよということですね、やっております。ですから、非常にこう、一時は材価が下がって、林業も低迷しましたけれども、やり方では相当、山主さんにもお返しできるし、そういった転出材の換金、有効利用ができていますと、ま、それと、八代市には日本製紙がございます。日本製紙の子会社が収集をしてくれるということで、ま、日本製紙さんも私たち林業関係も助かっていると、こういう地元企業とのマッチング、それからそういう連携をすると、ま、それに県も支援頂いておりますので、非常にこの、総合戦略の中において、林業関係はある程度、なんといいいますか、芽が出てきているかなという風な気がしております。

ま、それと、もう1つ皆さんにお伝えしておきたいのが、6月23日だったと思いますけど、県、市、組合とか、素材業者、認定事業体、こういうのが集まりまして、八代山づくり協議会というのを発足させた。県、市、民間、こういう一緒に集まりまして、いわゆる素材、それから、今、150町くらい年間切ってますので、その後に植える苗木の、今の場合は、他の管外の生産者から苗木を全部買って植えてるわけ。ところが私たちは、もともとの考えをすれば、やっぱり地元の苗、杉とかこういうものを作って、すぐ掘り取ってすぐ入れた方が、かち合いが良い。そういう考えもありまして、苗木の生産も、地元で増やそうってことでスタートして、徐々に増えてきたと。それと、どこの職業も一緒ですが、いわゆる後継者ですね、若手の就労者が少ないということで、これは私たちも非常に悩みなんですけれども、7、8年前は、ハローワークに出しますと、応募者は結構あったんです。ここ2年か、3年くらい、もう全然ありません。この点も、やっぱりこの間話し合いをしたんです。いろんな手を使って、募集の方法を考えないかん。県森連では、あつまるくんですかね、固有名詞を出しちゃいかんですけど、そういう求人募集に載せたらすぐに応募があったということ。ちょっとこれ、私たちも考えないかんなどということで、もちろん高校との連携はとっております。今までうちに就職された方とか。こういうものも色々まめにですね、やっぱり広報をして、いろんな職業、その中で林業は重労働だけど、危険性があるけど、ま、そういう職業に憧れる若者もいますので、それと、昔と違って人力だけではしません。さっき言いましたように、

| | |
|-----|--|
| | <p>機械を使ってしまうので、ま、そういうところも、新卒とか若手の求人者にアピールして行きたいなと思っているところですから、わたしちょっと、市の方から報告があったので、追加してですね、現状を報告させて頂きましたので、引き続き、林業の方もよろしく願いしておきたい。それと、課長さんいらっしゃいますけど、木材需要拡大協議会にて、もう7、8年前から要望してきておりました。公共施設に地元産材をとということで、これ、今、市役所を作っておりますけれども、これにも、ヨーロッパ発祥ですが、CLT、いわゆる合板の縦横を組んでですね、強度を強くした材木を使って頂くように今もう、だいたい、製作をして、なっておりますので、ま、たぶん、将来的には、完成した暁には全国からですね、そういうものの視察が増えるんじゃないかと。ですから、観光面、商業面でですね、そういう役に、完成した暁にはアピールして頂いて、どんどんやっぱりそういう交流人口も増やして頂ければと思いますので、私たちもがんばりますので、よろしく願いしておきたい。</p> |
| ○会長 | <p>はい、ありがとうございます。林業の色々な取り組みのご報告ということで、特にお答えがというものではないと思いますけれども、色々おっしゃったように、新庁舎も今、CLTでですね、天井部分が見える状態でやるという計画でございますので、是非、ご期待頂きたいと思います。</p> |
| ○委員 | <p>5ページの“人が集う”について、会頭として一言、言っておかないといかんかなと思ひまして。花火大会、妙見祭、中止になりました。来年度からどうするのかというのが、まず1点。来年をどうした形が望ましく、そしてコロナ禍であっても開催できる方法とかっていうのが、考えていくのかとか、その辺のところ、ま、来年度の話ですから、今回の話とはちょっと違うかもしれませんが、そこをお願いしたいというのが1点。</p> <p>それから、クルーズ船、これも、ま、ここに書いてあります通り、コロナ禍において、収束後から回復に向けて頑張ると書いてありますが、何をもって、私たちは、新しいクルーズ船の受入をやっていくのか。ま、これは受入実行委員会の方で当然、考えていっていることでございますけれども、3日ほど前にロイヤルカリビアンの方たちとお話をする機会がありまして、私から言ったのが、4,000人~5,000人の中国人、外国の方々が中心で、八代に降りられる時に、『そこまですれば安心ね』と、市民の方々が言って頂けるような形づくり、見える化をしなきゃいけないんじゃないかなと、いうことを言いました。どういうことかと言いますと、今ですね、盛んに、いろんなところが船渠して、もうほぼ出来上がってるんですが、噴霧というか、シャワーといいますか、小さな粒で、噴霧しますと、99.99%、いろんなものが死んでしまうと、いうようなものがもう、できております。発売に至ったくらいです。要するに、船から降りられたところに、それがあつた。手だけじゃなくて、体全体を噴霧してから、八代港の方に降り立つという形を作ったらいかがなのかなと、いうことを、非常に思います。で、そのとき、おっしゃったのが、ロイヤルカリビアンは世界一安全な船だということを謳っていますと。今日、県の方もいらっしゃ</p> |

| | |
|----------|---|
| | <p>いますので、一言、言っておきたいんですが、だったらいっしょにやりますよねと言われた。その通りですと、そういう考え方が私たちは欲しいですと。言って頂けたので、是非とも、そっちの方向で、日本でいちばん安全な、安心できる、クルーズ拠点港を目指すということで、謳ってポートセールスをしていけばいいかなという風に、今、思っているところです。以上です。</p> |
| ○会長 | <p>県の方と、市の方で、それぞれで、今の意見に対して何か、お答えをお願いします。まずは県の方から。</p> |
| ○委員 | <p>はい。お世話になります。県南広域本部でございます。今、お話伺いました。クルーズ船、コロナ禍においてですね、どう受け入れるかということの課題、ご懸案についてでございます。まずもって、市民の方に、やはり受け入れに当たっては、安心して頂けるような環境作りというものが大事だと思います。おっしゃりますように、クルーズ船側でやって頂く部分もあれば、行政側でやる部分もあるという風に思っております。今、商工会議所さん、八代市さんと一緒にやっております、安心なまち八代プロジェクト、これをなんとかですね、今、商工会議所さんの方で一生懸命、見える化ということでやって頂いてますので、私たちもそれを応援しながら日本一安心できる八代の商店街だったり、八代をつくりまして、併せて、クルーズ船が来ても安心というところを作って行きたいという風に思っています。それを具体的な取り組みについては、今から、一緒に考えさせていただきますので、よろしくをお願いします。</p> |
| ○会長 | <p>経済文化交流部の方から、誰かございますか。</p> |
| ●経済文化交流部 | <p>今、県南広域本部の方からお答え頂いたので、ほぼ同じなんですけれども、船会社、旅行者、そして地元の方がですね、安心安全ということで、win win というような関係になるようなですね、受入環境を作っていきたいと思っております。</p> <p>先日、国内のクルーズ船が動き始めました。それに対して、しっかりと国、船会社の方と、旅行会社の方もしっかりと対策をとって、運航をしたところでございます。で、九州では佐世保港に入って、佐世保港の方でもですね、受入を、コロナ対策ということで充分にとって、受入をされたということで、私たち、市、あるいは地元で作っておりますクルーズの協議会としましては、そういった他港の事例、または船会社、国、そういった動向を捉えながらですね、どういった対策が良いかということの参考に、今後も検討していきたいと思っております。以上でございます。</p> |
| ○委員 | <p>花火の方は、いかがでしょうか。</p> |
| ●経済文化交流部 | <p>八代全国花火競技大会についてでございますが、今年は、コロナ、そして水害ということで、延期という形をとっておりますが、実際に花火を打ち上げる会場も水害の関係で、どうしてもちょっと打ち上げられないというような状況となっております。</p> |

| | |
|-----|---|
| | <p>ます。この河川の整備の状況を見ると、来年の大会、来年の花火大会がですね、会場席が開けるかというところが一つ、来年の大会についてはですね、大きな課題ということになっております。そういった中で、今度はコロナ関係でございますが、コロナ対策についてもですね、私たちが今、検討しているのは、会場内、有料観覧席とか会場内は、コントロールをすることがある程度可能なのかなど。ただ、その八代花火大会、30万人の観覧ということになっておりますけれども、多くの方がJRとか、バスとかで来られます。そういったところの対策、これはもうJRさんだったり、各交通キャリア等とのしっかりと連携を取らなきゃいけないということで、そちらのコントロールの方が、私たち実行委員会では難しいので、関係事業者の皆様と連携しながら、安心安全な大会になっていけるよう、今、検討をしているところでございます。</p> |
| ○会長 | はい、ありがとうございました。 |
| ○委員 | <p>今の質問に少し関連致しますけれど、資料1のですね、表の2の人口の推移ですね、八代市の。これを見ますとですね、穏やかな減少率でコンマ79%を達成しているとありますけれど、もうずっと、何年も人口が減り続けております。あの、何で減るか、そういったことを考えるとですね、実はですね、先日マスコミでですね、九州の住みたい街ランキングが発表がありましたですけど、博多の街が1位で、他に福岡の街が入っていると。でですね、本県からですね、菊陽町が第3位に入っとつとですよ。それから、合志市ですね。さらにショックだったのが、隣の隣の宇城市が入ってるんですよ。このようにですね、人口が増えている。八代市商工会の例を言いますけれど、実は、人口が減り続けている段階で、会員の数も減少しているんです。で、県の方からですね、職員の数も昨年から減らされているんです。結局ね、合志市とかですね、菊陽町に持っていかれるとですよ。うちとしては、5つの支所がありますのでですね、職員の数を減らされるとですね、とてもじゃないですけど、やっていられない現状なんですよ。結局ね、八代市がですね、熊本県の南の拠点ですよ。何で人口が減り続けているか、ここに集まると、人をひきつけ、人が集う活気ある“やつしろ”づくりってありますけれど、こういった現状、ひとつもないと、大変じゃないかと思ってるんですけどね。あの、今年に入りまして、商工会議所さんと一緒に、安心安全なまち八代プロジェクトを立ち上げまして、これに、こんなプロジェクトでですね、少しでもですね、人口が増えるような施策を持っていかないと、我々経済4団体もですね、行政に一生懸命協力しますので、行政の方も、少しは八代市の現状を考えられてですね、他の街から寄ってくるような街にしたら、それは難しい、本当に難しい現状ですけど、このままだったら、また来年も1万人、減少します。やはり、危機感を持ってですね、取り組まれた方がいいんじゃないかと思っております。ぜひとも、協力しますので、よろしくお願い致します。以上です。</p> |

| | |
|--------|--|
| ○会長 | 一発で解決はなかなか無いと思いますけれども、ま、それに向けて取り組んではおるわけですね。課長、一言、今の意見に対する答えを。 |
| ●企画政策課 | <p>私たちが、あの、今、おっしゃった通り、ちょっと危機感を持って、いろんな政策等検討しておるんですけれども、わずかなところからですね、一番心配しとるのは、18歳の崖って言われる部分がございます。八代市におきましては、18歳になったならば、進学とか就職で市外に出ていくというパターンが、もの凄く多ございます。そういう中でですね、今、取り組んでおりますのが、若者、ま、高校生をターゲットとしまして、研究会というのを夏休みに行っております。今回も14名を対象として行って、3年目なんですけれども、そういったわずかな取り組みでございますけれども、八代の魅力あたりを再認識して頂いて、多くの方に、この八代の魅力を感じ取って頂いて、ふるさと八代に、一回出てもいいから、戻って来ていただくような取り組みというのを、今、行っているところでございます。わずかな取り組みでございますけれども、3年目で、今回はですね、Youtubeあたりでも流しております。たぶん、今、その研究発表の内容というのはYoutubeでも流れていると思います。1回見て頂ければと思います。わずかながら、そういう部分で、危機感を持ってやってるんですけれども、なかなかこう、すぐに効果は表れていない状況でございます。</p> |
| ○会長 | あの、とにかく頑張っておりますので、皆さんと一緒にですね、これからも取り組んで参りたいと思っております。 |
| ○委員 | <p>事前質問の〆切に間に合わなかったものですから、事前に質問ができなかったんですが、いくつか質問がございます。まず、この事前配布の資料とページ数が変わらないようであれば、新しい奴はページ数が変わっているものですから、見つけるのが大変なんですけど、まず1点が、7ページのやつしろの風の登録会員数、やつしろの風の発行目的と、登録会員数5,000名と目標はなってますが、その目標を立てられた意味合い、どういう目的でそのようになっているのか。それからホームページアクセス数。57万7千で良かったとなっておりますが、これあの、何人の方が閲覧されているのか、多分、同じアドレスだと分かると思うんですけれども、アクセス数だけでは、意味が分かりづらいなあと。一般業者、いろんな入札とかなんかで業者も随分アクセスしてくると思いますが、一般の市民の方がどれくらいホームページにアクセスされているのか、というのと、それから、中心商店街の通行量、実績値がありますが、これはいつ、どこで、測られた通行量なのかということ、それから、すいません、また戻っちゃいますが、ホームページアクセス数に関連して、八代市役所のフェイスブック、それがフォロワー数が三千八百何某と、ごろっとよかもんしあわせやつしろが千五百何某、それから、ふるさとメール、これは熊日新聞が毎週水曜日に出してるメールが七百名、あります。それからこれ、一般の人が作ってるんですけど、八代市というのが、八代市というだけのフェイスブックがあります。それから八代連絡帳、これなんか行政が出してるような感じがするんです</p> |

| | |
|----------|--|
| | <p>けど、民間の人が出してる、よくあの錯誤、本当に信用ができるやつかどうか良くわからないものがあります。</p> <p>社協さんもあります。それから県南フードバレーの推進協議会も、フェイスブックもあります。DMOやつしろもあります。いろいろあります。何かこう、もう少しまとめてですね、わかりやすくするというのと、この10万人規模の都市で、フェイスブック3,800人、4,000人くらいのフォロワー数というのは少ないんじゃないかと。ですから、いかにこの、高齢化率もありますので、ホームページをご覧ください、ネットでやってますよ見てください、Youtubeでやってますよ見てください言われても、そこにアクセスする人がどれだけ少ないか、どういう割合なのかというのを、もう1回見直すべきだと。だから市民の人たちにどういう風にこう、情報を出していくのか、その辺のところをしっかりと考えながらやらないと、情報格差がより、よく、ホームページを見る人は良く情報が入るけれども、そうではない人には情報が入って行かない、そういう情報格差が出て来るんじゃないかなという風に思いますが、そういうところをもう1回考えて頂きたいなということで、今のところをお聞きしました。えっと、それから中心市街地のさっきの通行量のところ、それと、どっかにありましたが、どこかで、道路の、道路でしたっけ、調査が大変で調査しきれないってところがございましたが、どっかにいっちゃいましたが、ま、そういうところにも、あの、つながっていきますが、行政の効率化ということで、もう少し、このセンサーなどを使った、今、言われてるIoTとか、いうのをを使った統計資料を取っていくというようなことであれば、少しその辺が緩和できるのかなという風に考えております。またこれは、意見で後程、用紙がございますので、そういったものに意見の方を書かせて頂きます。ちょっとなんか、訳がわからなくなりましたが、そのようなところも質問のところをお答え頂ければと思います。</p> |
| ○会長 | <p>はい。個別で、やつしろの風と、中心商店街の通行量に関してですけれども、やつしろの風は経済文化でいいのかな。であれば、中心商店街の通行量は、あ、そっちだね。その2つを経済文化の方から、分担して結構ですから、ご説明をお願いします。</p> |
| ●経済文化交流部 | <p>まず、やつしろの風について、お答えをさせていただきます。やつしろの風についてはですね、八代市外にいらっしゃる方、特にこの、もともと八代だったんだけど、八代から出たよという方、なかなか八代の情報が入りにくいということで、ま、そういった方々にですね、できるだけ八代を身近に感じて頂こうということで、発行しているものでございます。やつしろの街の話題や観光情報等、旬の情報をお伝えしているところでございます。会員数が策定時は1,100人だったということで、目標が5,000人ということで、これについてはですね、私が記憶するところでは、5年間、毎年1,000人ずつですね、増やしていこうという事で、1,000人を5,000人というふうに立てたかと思っております。お陰様で、そうやって会員数は年々増えていっております、ここにあるように、令和元年度は7,800人ということで、今、発行部数の方も年々増加しております。発行が年に2回やっております、平成2</p> |

| | |
|--------------------|--|
| | <p>6年は5,000部だったんですけども、今は、25,000部発行しているところがございます。やっしろの風については以上です。</p> |
| <p>●観光・クルーズ振興課</p> | <p>続いて、通行量調査の質問について、お答え致します。まず、いつ調査を行っているかについてですが、例年12月の下旬に調査を行っております。場所についてですが、場所は本町1丁目から3丁目のアーケード内、各町内に1か所ずつ、調査点を設けて調査を行っております、このほか、ホテルルートインの通り、あの二之町の通りですね、あそこにも2箇所設けておまして、あと、通町の方にも2箇所設けております。あとはですね、昨年度、市役所と本町商店街を結ぶ、こいこい通りのところを整備致しましたので、昨年度につきましては、新たに、NTT前とセレクトロイアル八代の前でも通行量調査を行っております。以上になります。</p> |
| <p>○会長</p> | <p>はい。ありがとうございます。あとホームページ関係は、アクセス数とか、実際のそのアクセス人数はわかるのかとか、フェイスブックとかいろんな媒体を、そのややこしいので統一することは考えないのかとか、そういったお尋ねは、市長公室の方でよろしいですかね。</p> |
| <p>●市長公室</p> | <p>まずホームページについてでございますが、ホームページにつきましては、広報紙と並びまして市民からのですね、皆様への行政情報の発信手段として活用しております、こちらの方の資料の方にも書いておりますけど、できるだけ市民の皆様が必要とされるような情報を的確に、なおかつ見やすいホームページを作って、見て頂けるようにということで努めております。今、委員の方からご指摘がございました、どういう方がアクセスしているのかということにつきましては、すみません、ちょっと今、こちらの方で解析情報を持っておりません。こちらの方で把握しておりますのは、例えば、課ごとにどういったアクセスがあるか、記事毎にどういったアクセス数が伸びているとか、そういった部分についての情報は、把握ができております。で、主には災害ですとか、コロナ関係とか、イベント関係の情報についてのアクセスが多いように記憶しております。</p> <p>その後の、フェイスブックとかツイッター、あとライン、こういったSNSというのもホームページ以外の情報発信手段として、ここ1、2年、公式のものを作りまして情報発信を始めております。おっしゃった通り、今、全体で、だいたい3,000人から5,000人くらいの間で、フォロワー数の方が推移しております。こちらの方もできるだけ、皆様から見て頂けるような情報をお出しするような形で、フォロワーの方を増やしていきたいというふうに思っております。</p> <p>まだ、すみません、できるだけたくさんの方の手を用いて情報を発信していく方向に進んでいるところで、なかなか一本化ですとか、まだ具体的には検討しておりませんが、ご指摘がありました点につきましては、今後、検討させて頂きたいと思っております。</p> <p>締めになりますけど、フォロワー数ですとかアクセス数を伸ばすということはもちろんですけど、どのような記事を求めているらっしゃるかというのをしっかりと分</p> |

| | |
|------------|--|
| | 析して取り組んでいきたいと思えます。よろしくお願ひ致します。 |
| ○会長 | あの、道路の話、調査の話ですけれども、ひょっとしたら橋梁ですかね。橋梁の長寿命化の修繕箇所数のところで、河川管理者とか地元調整に日数を要し、進捗が遅れますという表現がありますが、そのことですかね。資料2の15ページですけれども。そのことであれば、これについて例えば、IoT、ドローン関係とかですね、そういったものを使って効率化できないかというお話ということではよろしいですか。では、建設部、誰か来てますかね。 |
| ●建設部 | 橋梁長寿命化ということで、法改正がございまして、道路の重要構造、トンネルであるとかですね、橋梁についてはですね、確実に5年間ごとにですね、調査を行って、それに基づいてですね、橋梁長寿命化計画を立てて修繕を行っていくということになっております。ここに書いてあります通り、いろんな橋梁補修をするということになりますと、まずそれを調査するということにはなりますが、今のところは調査する機械というのがですね、なかなか近くまで行けるというものが無いものですから、事業費がですね、大きくなっています。ですので、おっしゃったようにですね、今後ドローンとかですね、そういう新しいですね、調査方法というものを少しずつ開発されておりますので、そういうものを使いながらですね、調査をして、できるだけ良い資料を作ったうえで、各河川管理者等々にも説明をしながらですね、できるだけ協議が早く進んで、正確な補修というものができるようにですね、取り組んで行かなくてはならないという風に考えております。 |
| ○会長 | はい。予定の時間も近づいて参りましたが、もしございましたら、あとお一人だけでもし、あれば。はい、どうぞ。 |
| ○委員 | 最後に各事務局にエールを送りたいと思えます。コロナ禍と豪雨災害という危機を乗り越え、目標達成に向かって頑張ってください。よろしくお願ひします。 |
| ●商工・港湾振興課： | 申し訳ございません。商工・港湾振興課です。先ほどご質問がございました、中心商店街の通行量、資料2の7ページ目ですね、こちらについて補足を申し上げます。この通行量調査のですね、策定時の数値8,789、こちらの数字がですね、本町1丁目から3丁目の数字となっております、令和元年度の実績値もですね、本町1丁目から3丁目の実績の数値となっております。先ほど、通町、二之町もご説明致しましたが、こちらについては、こちらの数字に含まれていないというところでは。補足で申し上げます。 |
| ○会長 | はい、ありがとうございます。本日、いろんな意見を頂きましたが、頂いた意見を踏まえてですね、今後の各課の取り組みに活かして頂きたいと思えます。 |
| ○委員 | 時間ないのですか。いや、私、質問じゃなかったですけど、この八代市の総合戦略 |

| | |
|-----|--|
| | <p>についてですね、銀行さんとですね、各先生方の意見、短くて結構ですから、ちょっとお聞きしたいんですけど。せっかく来ておられるからですね。</p> |
| ○会長 | <p>よろしゅうございますか。はい、どうぞ。お願い致します。</p> |
| ○委員 | <p>私どもも、まだまだ勉強不足なんですが、よその県でっていうか、茨城県の稲守町というところかな、人口、関係人口の創出ということで、ワーケーション事業というのを、昨年ぐらいから始められたのかな、すいません。確かな情報じゃないんですけど、ある企業さんが、そこの従業員さんを地域に呼んで、そこで、一定期間、生活をしてもらって、昼間の時間は仕事を、あのパソコン、いろいろそういうので、本来の事業を仕事をしてもらう。そのかわり、その空いた時間にあの、例えばこの、八代市での観光名所だったり、いろんなところを見て回ってもらったりして、八代市の良さを知ってもらおうとか、そういったなんかあの、ワーケーション事業というのをちょっと聞いた事がありまして、まあ、地方創生と言いますか、なかなかやっぱりあの、人を増やすというのは難しいんでしょうけど、なんかそういう繋がりを持つ人を増やすことをやるというのを、ちょっと聞いた事がありましたんで、すいません、以上です。</p> |
| ○委員 | <p>私もちょっと、感想といたしますか、思っているのは、先ほどあの魅力の住みたい街の話が出て、合志市だとか菊陽だとかっていう地名が出ましたけど、ああいうところは、おそらくもう住んでらっしゃる方っていうのは、どこで働いてるかって言うと、やっぱり熊本市なんですよ。要はその、八代の場合、魅力を上げていくというのは、もちろん大事なんだろうけど、まず、そもそもじゃあ、働くところがあるのかっていうことではなかろうかなという風に思ってます。学生さんが出ていくってことは、そこに非常に強い関連性と言いますか、あるんじゃないかと思ってますんで、我々金融機関としては、もちろん、マーケティングの中に事業所数の推移とか見させて頂いてますけど、やっぱり事業所数が非常に少なくなってますよね。ですから、その確保っていうのをやっぱりもっと、なかなかいろいろ大変なことは分かりますけれども、ちょっとお力を入れられると、地域八代の人口減少にも歯止めがかかってくるのではないかと、とりとめのない話ですけども、そういう風には考えております。はい。以上です。</p> |
| ○委員 | <p>今日、いろいろ話をお聞きしてですね、ほんと多方面にですね、色んなことを色んな部署、関係者の方々がご尽力なさってるなという風に思いました。コメントの中で印象に残ったのは、“効率化”という言葉ですね。やはり、色んなものが限られますので、これから効率化というものを進めていく必要があるなという風に感じております。学校ができることといえば、正直申し上げて、授業とかもありますので、限られるんですけども、在学時に取り組めることというのをですね、皆さん方とこれからも、続けて行きたいと。今までちょっと十分でなかったところもありますの</p> |

| | |
|--------|---|
| | <p>で、できることをやっていきたいという風に考えております。よろしくお願ひします。</p> |
| ○委員 | <p>ひとつだけ、ご意見を頂いた中でですね、新しく総理大臣が変わりました。そして国の施策で大きく取り上げられているのが、不妊の問題であって、そこをページ数からいくと8ページのところ。いわゆるこれだけ大きく不妊という事が全国的な取り組みがなされているなかで、八代市の数字を見たときに、どういう数字から見るかといった場合、ほとんど達成率が100%を超えているところが少ないですね。これをいかにして、八代の子育てに、八代という自治体全体が、取り組んでいるか。もちろんこれには、医療関係者、あるいは保育園、あるいはその他幼稚園の子育ての教育機関もあるんですけども、せつかく新しい、国が、コロナの影響を受けて、社会が大きく変わらなければならないというような全体の流れが出来てきている中で、八代の魅力というのは、言葉としては非常に綺麗な言葉なんです。それをじゃあ、具体的にどうやっていくのか。もし、子どもの、いや人口の減少を食い止めるということはどうしたらいいかと、これもやっぱり、この不妊という子供を増やすひとつの大きな国の政策と一体化をして実現することも大事じゃないかと思ひます。ただ、国の流れと八代という地域の流れの連携ということをいかに、具体化して効率的に実現することが大事じゃないかと、今、思っております。もちろん、教育の分野においては、学生数をいかに増やすかとその一環で、留学に来て、農業関係、その他の留学生の数を増やすために、一生懸命、東南アジアその他から、本学は私学ですので、今、国立高専みたいな、公的な大学と違ひますけれども、学生数を増やすことに一生懸命取り組んでおります。以上です。</p> |
| ○会長 | <p>ありがとうございます。今、金融機関の方、それから学校関係の方からお話を伺ひましたが、いろんな問題提起をしていただきましたが、その中で最後に川井先生がおっしゃったことは、今日まだ、福祉の方から発言がなかったと思ひますので、もしあれば、不妊関係ですね、そういったところでの今後の取り組みと伺ひますか、今の気持ち、気持ちって変ですけど、お聞かせ頂ければと思ひます。</p> |
| ○健康福祉部 | <p>事前質問ですね、委員の方から頂いておりました、事前質問の5ページの方に、妊娠届け出数の減少ということですね、進捗率の説明を求めると伺ひました。こちらの方に回答させていただいておまして、減少の原因についてはですね、結婚適齢期の女性人口の減少ですとか、晩婚化等が考えられるということで、資料の方にも書いておりますけれども、昨年度の10月から産後ケア事業や、これまで特定不妊治療の助成事業というのを実施していたんですけども、昨年10月からは一般不妊治療の方にも助成対象を拡げまして実施をしているところがございます。新聞報道等でも取り上げられておりますけれども、不妊治療の保険適用ということが、今、大きく掲げられておまして、それまでの間には、拡大・拡充を検討するというようなところでおりますので、しっかり国の動きを見ながら、</p> |

| | |
|-----|--|
| | 本市としてもしっかり対策をとって行きたいと考えております。以上でございます。 |
| ○会長 | はい、ありがとうございました。それでは、あの、時間も参りましたので、議論そのものは終わりたいと思います。 |

5. 閉会

(企画政策課)

- ・本日、ご発言が叶わなかった意見・提案については、別紙「意見等提出票」により、提出いただきたい。